医療法人桂名会大須病院 地域連携情報誌

vol. 2022/05



大須病院の地域連携情報誌創刊!

大須病院の最新情報を年4回、お届けいたします。 ぜひご活用ください!



Stample | Stampl

整形外科

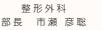
海病院より医療法人桂名会に事業譲 令和3年10月に旧NTT西日本東

渡され大須病院になりましたが、診療

形成術)を中心に行っています。 合や形成術。腱板縫合・脱臼に対する 骨折整復。前十字靭帯再建·半月板縫 術(TFCC損傷・ガングリオン切除・ るさまざまな外傷にも対応していき 形性関節症(膝・股関節)に対しての人 症・骨粗しょう症など)まで、多岐にわ らご高齢の方の変性疾患(変形性関節 勤医師に来ていただき、診療にあたっ ては、毎週金曜日に東京大学より非常 工関節置換術や関節鏡を用いた再建 たる病態が対象となります。主に変 これだけではなく、日常多くみられ いただいております。 診療対象は運動器疾患全般となり ・ツや事故による外傷か ツ膝関節外科に関し

医で患者さんのニーズに答えられる よう診療に邁進させていただきます。 今後は当院整形外科の常勤・非常勤





当院、最先端機材のご紹介

手術支援ロボット NAVIO

ものです。

けてくれたりする技術と近 近づくと自動でブレー

その「前十字靭帯」を温存する 技術の限界があったことが大ない、という医療機器と手術字靭帯」を切らなければなら された「ロボット支援技術」は、 きな要因と考えられます。 いらつ 節の重要な組織である といった悩みを残される方が この人工膝関節手術は膝関 しゃるのも事実です。 前十

全に実施することができる最 新の医療テクノロジーです。 た難易度の高い手術をより安 ような今まで取り組めなかっ 平成31年から日本でも導入 ションを、自動車の技術で

年々進歩し、手術結果もとても行われる人工膝関節の手術は すがにそこまではできない・・・ 術後に自分の若い頃の膝と少 安定しています。しかし し違う感覚に、または趣味のス 膝関節の辛 ーツを再び始めたいけどさ 痛みに対して 中には

えると、車線をはみ出すとア

ムがなったり、

、前方の

キを.

を車かに

ボット支援は自動車技術に例

る習熟が必要です。そ

の点 験に

いますので経

くれますが、手術は人間であるむ方向や手順を医師に伝えて例えるとカーナビのように進

います。 患者様のお役に立てるよう努 る人工膝関節手術を開始して 常に最新の医療に取り組み ロボット支援技術によ

医療法人 桂名会

初めて、 ができるのではと期待してい 別のニーズにより応えること 私たち医師はより難易度の高 術なのです。この技術によって ないように支援してくれる技 がそれを正確にかつ間違いの 医師が行うのですが、ロボッ るようになり、患者様の持つ個 い手術にも安心して取り組め 手術は引き続き人間である 令和2年3月より愛知県で

代表電話:052-212-8981 ホームページ https://osu-hp

〒460-0017 愛知県名古屋市中区松原2丁目17番5号

https://osu-hp.keimeikai-gp.jp/

地域連携福祉相談室(直通) 受付時間:平日8:30~17:00

T E L:052-212-8427 F A X:052-212-8436



地

地域 の方々に ただける病院に 必要と L 7

は昭和 した。 になり感謝申し上げます。当院西日本東海病院では大変お世話 誕生し、令和3年10月1 社により「東海逓信病院」として たに大須病院に生まれ変わり ご挨拶遅れましたが、旧N 46年3月に当時の電電公 るわりま -日に新

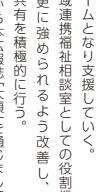
け病院を目旨す こう・・・・・の方々に深く愛されるかかりつ圏を代表する地名であり、地域圏が表すると、当院から半径3km 康増進に貢献する]に改定いた地域および名古屋の持続的な健 これを機に、病院理念を「大須 \mathcal{O} しま 代表する名称で、 屋」は、当院から半径5k け病院を目指すと を込めて した。 病院名の由来である います。また「名古 ション機能を との決意を表 中区地域で一番 いう当院の思 圏を もつ

> ます 発展したいとの思いを込めてい ックス病院として、 利く診療機能をいつまでも継続病院では対応できない小回りの 移り変わりに素早く対応し、 療環境整備もまったなしの状況 であったが現在既に到達し、医 モデルは令和 大須地域、中区全体の人口予測口の約2割が高齢者といわれるそして、高齢化により、今や人 回復期機能を合わせもつケアミ 機能も更に強化し、急性期機能、 させたいとの決意と、健康診断 にあります。医療環境の激し 年に9万3千 地域とともに 大 し

連携してくださる各関係機関、連携してくださる各関係機関、連携してくださる各関係機関、地域の病院、クリニック、介護施地域の病院を目指して参ります。こる病院を目指して参ります。こる病院を目指して参り、地談等とより一層の連携を図り、地談等とより一層の連携を図り、地談等とより一層の連携を図り、地域の病院、クリニック、介護施地域の病院、クリニック、介護施地域の病院、クリニック、介護を対してくださる各関係機関、連携してくださる各関係機関、 願い申 うぞご活用下さい 支援を賜りますようよろしくお よび名古屋の持続的な健康増進 に貢献する」゙新生、大須病院をど 私たち全スタッフ一丸となって し上げます。「大須地域お

地域連携福祉相談室としての役割機能 チ の共有を積極的に行う。 を更に強められるよう改善し、

室福祉相談室一 しとなれるよう誠心誠意努めてまいります



双方の円滑な連携の橋渡 しながら、地域連携





回復期リハビリテーション科 部長 吉田 和雄

対象疾患 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、 150H 脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、脳神経叢損傷等装具訓練を要する状態 高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む 180⊟ 多部位外傷の場合 大腿骨、骨盤、脊髄、股関節または膝関節の骨折または二肢以上の多発骨折 90⊟ 3 外科手術または肺炎などの治療時の安静により廃用症候群を有した状態 90日 4 大腿骨、骨盤、脊髄、股関節または膝関節の神経・筋または靭帯損傷後 60 H 5 股関節または膝関節の置換術後 90⊟ 6 90⊟ 急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態

疾患や摂食嚥下障害に力を入れています脳神経外科の医師を回復期リハビリテー

シ

 \exists

ン科部長に迎え、

脳

血

6月1日リニューアルオープン!

今まで名古屋市になかっ

た

自然治癒力を引き出す新

と安心感)

タル

ح

して

再出

発を

きます。 概念の

ていい

設や療養型病院への橋渡しも丁寧に行っています。超えます。また残念ながら自宅に帰れなかった患者さんに対しても施ラムを組んでいます。現在在宅に復帰される患者さんの割合は85%をく再出発していただけるよう、患者さんと相談しながら最適なプログリハビリの「きつい、辛い」というイメージを払拭し、皆さんが明るリハビリの「きつい、辛い」というイメージを払拭し、皆さんが明る

IJ

IJ

シ 3

ま

当院の回復期リハビリテーション病棟の特徴

高中

度区の

医療が必要な場合は容易に転院も可能です。)中心に位置するため、近隣の急性期病院との連携は強固で更に

行えます。の増悪、転倒による骨折などの当院は急性期病棟も併せ持ち、

場合は急性期に移って脳卒中再発作、肺炎、

いただいて治療が心不全など合併症

あ たり

地域連携福祉相談室・ 患者され 退院調整及び各種相談業務を行者さん受け入れのための病床管 患者様相談窓口 ~

顔のために目標を掲げ取り組んでいます。 不安など、 者さんからの疾病に関する質問や生活上の ます。また、患者さんおひとりおひとりの笑 との連携の窓口として結ぶ役割を担い、 私たちは、 支援し、選ばれる病院を目指していく。 患者さんのニーズと希望に添えるよう 人間の尊厳を重視 さまざまな相談をお伺いしてい 地域の医療・福祉・ し意思決定を支え、 介護機関 患

退院支援の質の向上と標準化を進め 患者さんやご家族などと一緒に1 病院の多職種チ ムと地域の皆様 うの

時に、ご意見などもお伺い 院から様々な情報発信をさせていただくと同 これから本広報誌「大須」を通じまして、 知 当



広報誌刊行に

理の支援、 っています。